

令和4年11月

## 第1回 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 発言要旨

## 【議事2：設置検討会議について】

## ● 座長

資料3「3 検討の視点」について、検討を進める際の留意事項を説明させていただいた。この設置検討会議においても、「在り方検討会議」に引き続き、この4つの視点のもとで検討を進めることでよいだろうか。

## ○ 構成員

学校の設置場所を考える際には、立地の安全性、通学上の安全性が最優先となる。こうした視点も加える必要があるのではないか。このことについて、教育委員会はどうか考えるか。

## ※ 教育委員会教育企画課長

この4つの検討の視点は、資料に記載されているとおり、地域全体のことを考える、反対意見だけでなく代替案を提示するなど、設置場所だけでなく、他の検討事項も含め、議論を建設的に進める上での留意点であると受け止めている。今後、設置場所についても議論することとなるが、その際には、当然のことながら安全性を最優先にして検討していく必要があると考えている。

## ● 座長

安全性については、今後、様々な事項を検討する中で必ず出てくる観点で、地域の皆さんの関心も高いと思う。一方、この4つの検討の視点については、教育委員会の話にもあったように、議論をする上で、心に留めておく留意事項である。

それでは、この4つの視点のもとで検討を進めることでよいだろうか。

(異議なし)

## ● 座長

資料3「4 当面のスケジュール」として、概ね1年後を目標に、提言内容の具現化に向けた方向性を取りまとめることとしている。

そこで、当会議での検討の進め方としては、まず、質の高い教育や地域資源を生かした特色のある教育の内容、あわせて地域コミュニティの核としての学校の在り方について協議を重ね、目指すべき方向性が一定程度定まった後に、そうした学校にふさわしい設置場所や施設整備の内容などについて協議する、という段階を踏みながら検討を進めてはどうかと考えているが、そうした進め方でよいだろうか。

## ○ 構成員

教育内容等の方向性を決めてから設置場所を決めるという進め方は理解できるが、実際のところ、地域では、設置場所がどこになるのかについて関心を持っている保護者がとても多い。

それを踏まえ、行政側から、現段階での候補地を示していただければ、方向性を考えやすくなると思う。

※ 教育委員会教育企画課長

設置場所について、現段階で決まったものではなく、詳細な検討も行ってはいないが、候補地としては、まず、現在の小・中学校の敷地が挙げられる。次に、民有地を買い上げることはハードルが高いことから、一定程度の面積がある公有地として本市が所有している土地、国・県が所有している土地が候補地として挙げられるのではないかと考えている。

今後、検討が進み、教育内容や施設整備の内容等の方向性が定まれば、それぞれの候補地に設置する場合のメリット・デメリット等をお示ししたい。

○ 構成員

民有地を買い上げることは選択肢にないのか。

※ 教育委員会教育企画課長

学校を含め、市が施設を整備する際には、コストの観点から、まずは市有地、あるいは国や県が持っていて無料や比較的低いコストで活用できる土地を候補として検討するというのが基本的な流れとなる。民有地の活用の可能性が全くないわけではないが、優先順位としては低いものとなるということは御承知いただきたい。

○ 構成員

現在の小・中学校の敷地はイメージできるが、一定程度の面積がある公有地についてはイメージすることが難しい。砂谷の体育館のところにある湯来南運動広場や、和田の湯来保育園のところにある湯来運動広場などが候補地となるだろうか。

○ 構成員

杉並台団地の上の方にもグラウンドがある。

○ 構成員

それらを含め、設置場所を決定する段階ではないとしても、候補地を資料として示してもらえるとありがたい。

● 座長

それでは、あくまでも候補地となり得る土地の案という形で構わないので、今後の会議で、教育委員会から資料を提供してもらいたい。

※ 教育委員会教育企画課長

承知した。

● 座長

設置場所というのは、皆さん一番気になるところだと思うが、例えば、施設を複合化するかなど、学校施設の整備内容によっても必要となる面積は変わる。まず教育内容等の方向性を決めて、学校施設の規模感が決まれば、どの候補地に設置するのがよいかという議論が進

められると考えている。

○ 構成員

概ね1年後を目途に方向性を決めるとのことだが、方向性が決まってから開校までどのくらいの期間を要するのか、全体のスケジュール感を教えてほしい。また、方向性が決まる時期によってスケジュールも変わると思うが、来年の何月までに結論が出ればスケジュールが後ろ倒しにならないのかということも教えてほしい。

※ 教育委員会教育企画課長

行政の手続きとして、教育内容や場所等が決まれば、それを具現化するための予算を要求することになる。学校施設を整備する場合には、工事の前に計画や設計を行う必要があることから、まずはその予算を確保することになる。予算を確保し、計画策定等に着手してから開校までには、一般的に4～5年を要すると聞いている。

予算要求の手続きは毎年夏から秋にかけて行われることから、目安としては、概ね令和5年9月中に方向性が決まっていれば、令和6年度予算要求に間に合うと考えられる。もちろんこれは目安であり、10月になった瞬間に間に合わなくなるものではない。

○ 構成員

今後、学校の設置場所、施設整備の内容等を決めていく必要があるが、できれば、新しい校舎を建てて、子どもたちが気持ちよく勉強できるようにしてほしい。

● 座長

方向性の決定時期や予算要求の関係など、今後のスケジュールについても、設置場所の候補地と併せて、次回以降の会議で資料を提供してもらいたい。

※ 教育委員会教育企画課長

承知した。

● 座長

先ほどから、設置場所についての意見が出ているが、場所を先に決めようとする議論が前に進みにくい。については、先ほど述べたとおり、まず、質の高い教育や地域資源を生かした特色のある教育の内容、地域コミュニティの核としての学校の在り方について協議を重ね、目指すべき方向性が一定程度定まった後に、そうした学校にふさわしい設置場所や施設整備の内容などについて協議する、という段階を踏みながら検討を進めていくことでよいだろうか。

(異議なし)

○ 構成員

概ね1年後を目途に方向性を定めることとなると、2～3か月に1回の会議では、結論を出すのは難しいと思うため、会議の開催頻度を上げることも検討する必要があると思う。

● 座長

協議の進み具合により、臨機応変に会議開催頻度の変更も検討する。

【議事3：本市における小中一貫教育校及び湯来地域の各小・中学校の取組について】

※ 指導第一課・第二課による資料4の説明

○ 構成員

湯来地域の各小・中学校の取組について、大変素晴らしいことをされていると感じた。

今後、小中一貫教育校の設置を目指すこととなるが、まずは、どこかの小中一貫教育校を実際に見てみることも必要であると思う。例えば、広島市内には3つの小中一貫教育校があるが、中でも、戸山地域は湯来地域と一体的に地域活性化を目指す取組が進行中であることから、戸山小中一貫教育校への視察を実施してはどうだろうか。

● 座長

このような意見が出ているが、教育委員会としてはどうか。

※ 教育委員会教育企画課長

学校との調整は必要だが、実施可能である。本日は小中一貫教育校の取組について資料で説明させていただいたが、実際の取組を見ていただければ更に理解を深めていただけると思う。時期については、議会日程等の関係から来年1月になると思うが、早めに調整して連絡させていただく。

○ 構成員

小中一貫教育校への視察も必要だが、多様な教育がある中で、今後幅広い視点で議論していくためには、小中一貫教育校以外への視察も必要なのではないかと思う。

※ 教育委員会教育企画課長

本市では、学校ごとに様々な特色ある取組を行っているため、視察したい取組を具体的にお示しいただければ、対象となる学校と調整させていただく。

● 座長

それでは、まずは戸山小中一貫教育校への視察を実施するという事でよいだろうか。

(異議なし)

● 座長

それでは、教育委員会には、実施に向けて学校と調整してもらいたい。

※ 教育委員会教育企画課長

承知した。

○ 構成員

教育委員会から「小中一貫教育校における成果」について説明があったが、デメリットや課題についても提示してもらいたい。

※ 教育委員会指導第一課長

小中一貫教育は、子どもたちや地域が抱えている課題の解決策として導入するものであるため、制度自体にデメリットはないものと捉えているが、実際に小中一貫教育を行っている学校において、取組を進めていく上で課題となっていることについては、整理してお示ししたい。

○ 構成員

本市の取組に加えて、他都市における小中一貫教育校の取組を紹介していただければ、よりよい議論ができると思う。

※ 教育委員会指導第一課長

近隣では広島県府中市、全国的には京都市などにおいて小中一貫教育が進んでおり、先進的な取組の事例がある。これらについても、資料を準備してお示ししたい。

【その他意見等】

○ 構成員

この設置検討会議は、構成員が行政側に直接質問できるため、大変有意義なものになったと思う。

今後、教育内容等について構成員から様々な意見が出ると思うが、行政には、その取組が実現できる、できない、またはこうすれば実現できるといった説明をしたり、意見が出た次の会議で資料を提供したりしてもらえるとありがたい。

(以上)